

トリクロロエチレン

Trichloroethylene

Cl₂C=CHCl

1. 別名

トリクレン、三塩化エチレン

2. 性質

液体，無色 クロロホルム臭

分子量； 131.4 比重； 1.465

蒸気密度； 4.5 沸点； 86.6 (758mmHg)

蒸気圧； 7.8kPa (蒸気濃度7.9%)

下部引火点； 30

爆発範囲； 8~10.5% 発火温度； 420

溶解性； 微 (25 0.1g/100g水)

許容濃度； 日本25ppm

米国10ppm (TWA) 25ppm (STEL)

管理濃度； 10ppm

環境規準； 0.2 μg/m³以下 (年平均)

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 空気中で，室温で引火しない。温度が30 以上で，蒸気濃度が比較的高く (約15%)，電弧等強い点火源があるときは，ゆるやかに燃える。酸素濃度が25 %以上のときは，室温でも引火する。酸素中では7.5~91%と広い爆発範囲をもつ。

人体への影響； 高濃度の蒸気にはく露すると，眼刺激性と麻酔性が強く現われ，興奮状態から突然に意識不明となることがある。慢性中毒では，視野狭窄，顔面・ほお・舌の味覚麻痺などの神経障害，けん怠，目まい，関節痛，睡眠障害などをまねく。10~30ppm以上で臭気を感じ，約50ppm 以上で目に刺激を感じるが，臭気・刺激には，なれの現象が大きい。

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法 [NIOSH]

吸光光度法 (アルカリ - ピリジン法)

5. 用途及び発生場所

溶剤 (ドライクリーニング剤，羊毛の脱脂洗浄，金属表面の脱脂洗浄，香料の抽出)，冷媒，殺虫剤

6. 関係法令

安衛令 (名称等表示)，有機則 (第2 種)，IMDG コード・クラス6 - 1，大気汚染防止法 (指定物質抑制規準)

7. 検知管の適用

